

月の夜

樋口一葉

青空文庫

村雲むらくもすこし有るもよし、無きもよし、みがき立てたるやうの

月のかげに尺八の音ねの聞えたる、上手ならばいとをかしかるべし、
 三味さみも同じこと、琴ことは西片町にしかたまちあたりの垣根かきごしに聞たるが、い
 と良き月に弾く人のかげも見まほしく、物ものがたりめきて床ゆかしかり
 し、親ちやとしき友に別れたる頃の月いとなくさめがたうも有るかな、
 千里ちやとのほかまでと思ひやるに添つひても行かれぬものなれば唯うら
 やましようて、これを仮かりに鏡となしたらば人のかげも映うつるべしやな
 ど果敢はかなき事さへ思ひ出でらる。さゝやかなる庭の池いけ水みづにゆら
 れて見ゆるかげ物いふやうにて、手すりめきたる処ところに寄りて久し
 う見入るれば、はじめは浮きたるやうなりしも次第に底ふかく、

此池このいけの深さいくばくとも測はかられぬ心地こゝちに成なりて、月は其そのこの底そこ
 のいと深くに住むらん物のやうに思はれぬ、久しうありて仰あふぎ見
 るに空なる月と水のかげと孰いづれを誠まことのかたちとも思はれず、物ぐ
 るほしけれど箱庭はこにはに作りたる石いし一つ水の面おもにそと取落とりおとせば、
 さゞ波すこし分れて是れにぞ月のかげ漂たゞよひぬ、斯かくはかなき事し
 て見せつれば甥すまなる子の小さきが真似まねて、姉さまのする事我れも
 すとて硯すずりの石いし一つのほどに持もて出いでつらん、我れもお月さま碎くだく
 のなりとてはたと捨すてつ、それは亡なき兄あにの物なりしを身みに伝つたへて
 いと大事だいじと思おもひたりしに果敢はかなき事ことにて失うしなひつる罪得つみえがましき事
 とおもふ、此池このいけかへさせてなど言へども未まださながらにてなん、
 明あけぬれば月は空かへに還かへりて名残なごりもとゞめぬを、硯すずりはいかさまに成なりぬ

らん、夜よなく、影まや待まちとるらんと憐あはなり。嬉うれしきは月の夜よの客まらう
 人ど、つねは疎うと々くしくなどある人の心こゝろやす安やすげに訪とひ寄よりたる、
 男おとこにても嬉うれしきを、まして女をんなの友ともにさる人ひとあらば如何いかばかり嬉うれし
 からん、みづから出いづに難かたからば文ふみにてもおこせかし、歌うたよみが
 ましきは憎にくきものなれどかゝる夜よの一ひと言ことには身みにしみて思おもふ友とも
 とも成なりぬべし。大おほ路ほちゆく辻つちうら占うらうりのこゑ、汽き車しゃの笛ふえの遠とほくひゞ
 きたるも、何なにとはなしに魂たまあしひひくがるゝ心こゝ地ちす。

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆58 月」作品社

1987（昭和62）年8月25日第1刷発行

1989（平成1）年1月25日2刷

底本の親本：「一葉全集 後篇」博文館

1912（大正1）年6月

入力：葵

校正：もりみつじゅんじ

2000年11月6日公開

2005年6月28日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

月の夜

樋口一葉

2020年 7月12日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>